

令和4年3月15日（火曜日）

厚生委員会

議会会議室

出席議員

白井義一、谷川真由美、木村達夫、駒田かすみ、
八木隆次郎、石見和之、竹中隆一、杉本博昭、
江口千洋

再開

9時57分

健康福祉局

9時57分

前回の委員長報告に対する回答

・姫路市DV（配偶者等からの暴力）対策基本計画（第3期）について、ワンストップでの対応など被害者の支援を充実させるとともに、DVに関する知識が十分ではない若年層に対する啓発にもしっかりと取り組まれないことについて

報告事項で説明する本計画（案）において、庁内の諸手続のワンストップサービスや住宅の確保、就労・就学、心のケアなど被害者一人一人のニーズに合った支援に取り組むこととしている。

また、デートDVを防止するための教育やSNS等を活用した新たな啓発方法の検討など若年層へのDVに対する意識啓発を推進することとしている。

付託議案説明

- ・議案第24号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について
- ・議案第25号 姫路市指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ・議案第26号 姫路市民生委員定数条例の一部を改正する条例について
- ・議案第27号 姫路市保健所運営協議会条例の一部を改正する条例について

報告事項説明

・姫路市DV（配偶者等からの暴力）対策基本計画（第3期）中間とりまとめ案に対する市民意見（パブリック・コメント）の募集結果及び中間とりまとめ案から

の主な変更点について

・健康福祉局における令和5年度の指定管理者制度更新予定施設について

・生きがいデイサービス事業・ミニデイサービス事業の終了について

・（仮称）母子健康支援センター立ち上げに向けた意見交換会報告書について

・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について

・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金について

・姫路市における新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

質疑・質問

10時27分

（質問）

姫路市民生委員定数条例の一部を改正する条例について、民生委員は成り手不足により苦勞していると聞くが、定年延長等の年齢要件の緩和は検討していないのか。

（答弁）

令和4年に実施する委員の一斉改選に合わせて年齢要件の緩和を行う予定である。

区域担当委員は、再任の場合75歳未満としていた年齢要件を原則75歳未満とし、理由書添付があれば78歳未満までとする。

主任児童委員は、新任・再任とも年齢要件を見直し、新任は原則55歳未満、理由書添付があれば58歳未満としていたところ、理由書添付があれば69歳未満までとする。再任は原則65歳未満、理由書添付で68歳未満としていたところ、原則69歳未満、理由書添付で72歳未満と見直し、担い手不足に対応していこうと考えている。

（質問）

条例改正の理由として児童問題への対応の増加が挙げられているが、かなり増加しているのか。

把握している数字があれば説明してもらいたい。

（答弁）

令和元年度実績だが、民生委員に寄せられた相談全体2万4,153件のうち、子どもの地域生活についての相談が1,332件、子どもの教育・学校生活についての相談が982件、子育て・母子保健が822件であるが、

具体的にどれくらい増えてきているかは把握できていない。

(質問)

介護予防・日常生活支援総合事業やいきいき百歳体操をはじめとする通いの場の実施により、介護予防の効果が得られるため、生きがいデイサービス事業・ミニデイサービス事業を終了することであるが、コロナ禍においても問題なく実施できているのか。

開催方法等を変更しているのであれば説明してもらいたい。

(答弁)

緊急事態宣言の発令時は休止していたが、緊急事態宣言が解除されてからは換気に注意しながら開催している。

事業所の都合により開催が難しい場合には休止しているが、年間では5割程度の開催率となっている。

(要望)

外出機会の減少により、認知障害が進んでいるという事例があると仄聞している。必要な事業はしっかりと実施できるように取り組まれない。

(質問)

(仮称)母子健康支援センターの立ち上げに向けた意見交換会の中でライフステージについての意見があるが、具体的な年齢を記載することについての議論はあったのか。

(答弁)

ライフステージは、委員からの意見を踏まえ、妊娠準備期を追加し、思春期から妊娠準備期、妊娠出産、子育て期としており、年齢を記載することについての意見はなかった。

(質問)

個人差もあり難しい問題である。しかしながら、現在においては、出産等に関する適正な年齢情報等を知る機会が少ないとの産婦人科医等の意見もある。

何か周知していくような機会はあるのか。

(答弁)

ライフプランニング事業の中で思春期世代に対して、人生の中で結婚するか、子育てをしたいか等のライフプランをしっかりと考えてもらう企画を検討している。

現在は、中学生を対象とした思春期出前授業の中で

自分自身がどのような生き方をしたいかをイメージしてもらおうようにしている。

(要望)

正しい情報を知る機会をつくっていく必要があると思うので、しっかりと取り組まれたい。

(質問)

民生委員の成り手確保については、年齢要件の緩和以外の新たな方策は考えていないのか。

民生委員は苦労ばかりで報われないというような印象を持たれることがないようにしてもらいたいがどうか。

(答弁)

民生委員児童委員連合会を通じて、民生委員の活動内容に関するアンケートを実施しており、その結果を取りまとめた後、当該委員の働きがい等をホームページで公開しPRしていきたいと考えている。

(質問)

(仮称)母子健康支援センターの立ち上げに向けた意見交換会の委員は全て女性である。

メインが女性となるのは分かるが、女性ばかりでは気がつきにくい点もあり、男性目線の意見も必要かと思うが、どのように考えているのか。

(答弁)

市関係の委員には男性も入っているが、男女の偏りはなくしたほうがよいので、男性の意見もしっかりと取り入れていきたい。

(質問)

新型コロナウイルスワクチンの接種について、ワクチン接種券の到着前に県の大規模接種会場で接種した場合、その後に到着する接種券の返却手続きが徹底されておらず、4回目接種が可能となるとの報道がされている。

県とどのような対応を行おうとしているのか。

(答弁)

県の大規模接種会場での接種情報と市の接種券発送業務の連動ができていないため、接種を受けた人にも接種券を発送する可能性はある。

市のウェブサイトでは、接種後に到着した接種券は破棄してもらおうよう案内をしているが、県としっかりと連携を取っていきたい。

また、市の会場でも接種券到着前の接種を行って

るが、そこでは窓口に来られた人に3回目の接種券は破棄してもらうよう紙面で周知している。

(要望)

接種券が届く前に接種した場合でも、後日届いた接種券でもう1回予約できてしまう。

連携が難しいことは分かるが、引き続き丁寧な説明をしてもらいたい。

(質問)

姫路市DV(配偶者からの暴力)対策基本計画(第3期)(案)中のデートDV防止の教育の推進について、同意のない性交渉が性的暴力であると記載されているが、デートDVは、それだけではなくて、精神的な暴力なども含んでいる。

短い文章で記載するにしても精神的暴力や性的暴力というように表現方法を変えなければ、一面的な見方となるのではないのか。

また、用語説明の性的マイノリティについて、昔はLGBTだったが、現在はQ、自分でセクシャリティを決められない、分からないという人が加わり、LGBTQとなっている。

今から作る計画なのでその辺りはしっかりと記載する必要があるのではないのか。

(答弁)

指摘を踏まえて検討したい。

(質問)

デートDVに関する市政出前講座の実施回数について、令和2年度は1回とのことであるが、令和3年度は何回実施したのか。

また、令和4年度はどの程度開催したいと考えているのか。

(答弁)

令和3年度の開催は、姫路高校と飾磨高校の2回である。加えて新任教職員の講座も開催している。

また、令和4年度の開催は、3回程度の計画をしている。

(質問)

今までのデートDVとは、スマホを絶えずチェックすることや必要以上に連絡を強要することなどがクローズアップされ、同意のない性交渉が性的暴力であるという認識が非常に弱かったため、そこが明確に記載されたことは重要なことである。

しっかりと記載してもらいたいと思うがどうか。

(答弁)

委員の意見を踏まえて検討したい。

(要望)

(仮称)母子健康支援センターの立ち上げに向けた意見交換会の中で、当該センターの事業がないときに、自習室として中学生たちが利用できるようなとの記載がある。

ふだんから気軽に利用してもらい、必要な際には様々な相談ができる形はとてもよいので、前向きに取り組んでもらいたい。

(質問)

(仮称)母子健康支援センターの名称を母子だけでなく、思春期から妊娠期まで幅広く利用できる施設であることが分かる名称にしてもらいたいという意見がある。

施設自体は、幅広い年代が利用できるものになっているが、現在の名称は、妊婦とその子どもだけを対象とした施設のような印象を与えるが、何か考えていることはあるのか。

(答弁)

しっかりと事業展開していく上では、いろいろな世代の人に施設を使ってもらうことが大切であり、名称については今後検討していきたいと考えている。

(要望)

ぜひ、市民に分かりやすい名称にしてもらいたい。

(質問)

意見交換会の中では、アウトリーチ型支援も取り入れたいとの記載があるが、具体的にどのような支援を行うのか。

(答弁)

現在も保健センターで実施しているが、(仮称)母子健康支援センターでは、より専門職を充実させる予定であり、保健センターにいない職種でチームを組んだ家庭訪問もアウトリーチ型の支援の1つと考えている。また要望があれば、学校や保育所に出向き、支援者と一緒に考えていくことも検討している。

(質問)

新型コロナウイルスワクチン接種の状況について、5歳から11歳までの子どもたちの接種状況はどのようなになっているのか。

(答弁)

3月13日時点で75人が接種している。

(質問)

現在、各医療機関での個別接種とのことであるが集団接種の予定はあるのか。

(答弁)

集団接種については、集団接種会場の1つを子ども専用準備しているところである。

保護者が不安に感じている部分があるので、時間当たりの人数はかなり少なくして丁寧な対応ができる体制を検討している。

(質問)

個別医療機関において、1本のワクチンを開けても接種希望者が集まらずに廃棄が発生しているということはないのか。

(答弁)

かかりつけの患者の子ども以外も受け付けているところは、かなり予約がある状況であり、廃棄の可能性は少ない。

かかりつけの患者に限定している医療機関でも、接種希望者をある程度まとめて、廃棄を少なくする工夫をしていると聞いている。

(要望)

廃棄をゼロにすることは難しいと思うが、それは医療機関もよく認識していると思う。できるだけ廃棄を少なくする形で接種を進めてもらいたい。

(質問)

(仮称)母子健康支援センターに必要な専門職種の記載がある。専門職種を集めるのはなかなか難しいと聞くが、どのような取組を考えているのか。

(答弁)

総務局に採用を求めていくことになる。

(要望)

必要な人材が確保できるようその辺りはしっかりと取り組まれない。

健康福祉局終了

11時04分

【予算決算委員会厚生分科会（健康福祉局）の審査】

意見取りまとめ

12時08分

(1) 付託議案審査について

・議案第23号～議案第27号、以上5件については、全会一致で可決すべきものと決定。

(2) 閉会中継続調査について

・別紙のとおり閉会中も継続調査すべきものと決定。

(3) 委員長報告について

・正副委員長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了

12時12分

閉会

12時12分

【予算決算委員会厚生分科会の意見とりまとめ】